

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
我孫子市	湖北地区(都部新田、中里、日秀、下新木)	令和5年2月20日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	207.1ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	156.9ha
③地区内における70才以上の市内農業者の耕作面積の合計	20.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	5ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	18ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、後継者がいないために今後5～10年のうちに所有者が耕作できなくなる可能性の高い農地がある。 ・米価の下落により地代の負担が大きくなっており、水稲作経営体の営農状況は厳しさを増している。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<ul style="list-style-type: none"> ・湖北地区の農地は大半が水田であることから、認定農業者を含む水稲の中心経営体である12経営体を中心に今後も担っていく。 ・作業の効率化を図るため、圃場の集約化と団地化(区画の拡大)を進める。
--

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・現在は所有者が耕作しているが、5年後は他の経営体に貸付したい(規模縮小または離農の可能性はある)との意向があった農地は5筆11,830㎡となっており、今後は周辺で営農している中心経営体が引き受ける意向である。 ・区画整備や地代設定等については、農地耕作者と農地所有者との地域の話し合いのもと必要事項を決定していく。
